

2012年8月の東北地方の天候

【8月の特徴】

○気温は高く、降水量はかなり少なく、日照時間はかなり多かった

(1) 2012年8月の概況

この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多く、気温は高かった。特に月の後半は晴れて暑い日が続いた。13日から14日にかけて東北日本海側を中心に大雨となつたほかは、局地的に大雨となつた日があったがまとまった雨ではなく、降水量は東北太平洋側を中心にかなり少なかつた。月降水量平年比は東北太平洋側で23%とかなり少なくなり、1946年の地域平均の統計開始以来、少ない方からの1位の値を更新した。また、月間日照時間は白河で8月の多い方からの1位の値を、小名浜で通年の多い方からの1位を更新した。

月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。月降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が多かつたが、東北太平洋側の北部では湿った東よりの風や日本の東に停滞した気圧の谷の影響を受けて曇りの日が多かつた。気温は、期間の前半は平年より高く、期間の後半は平年より低かつた。

期間の後半は上空に寒気が入り大気の状態が不安定となって、6日は東北北部を中心に大雨となり、7日から10日にかけては局地的に大雨となつた。

平均気温は平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。

中旬：期間の中頃までは気圧の谷や前線が次々と通過し、変わりやすい天気となつた。期間の終わりは太平洋高気圧におおわれて晴れて、気温は高くなつた。16日には、白河で日最高気温35.5℃を観測し、8月の日最高気温の高い方からの極値を更新した。

13日から14日にかけては日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、東北日本海側を中心に大雨となつた。また、12日と16日から20日にかけては大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となつた。

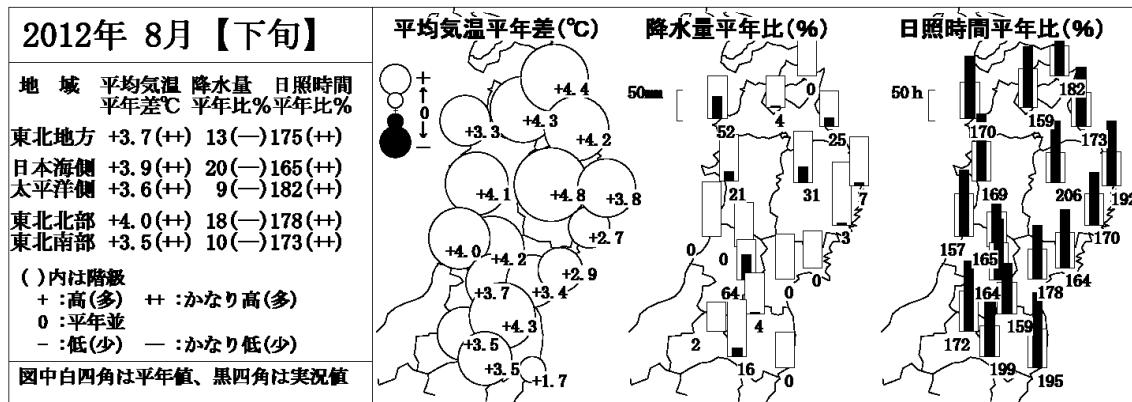
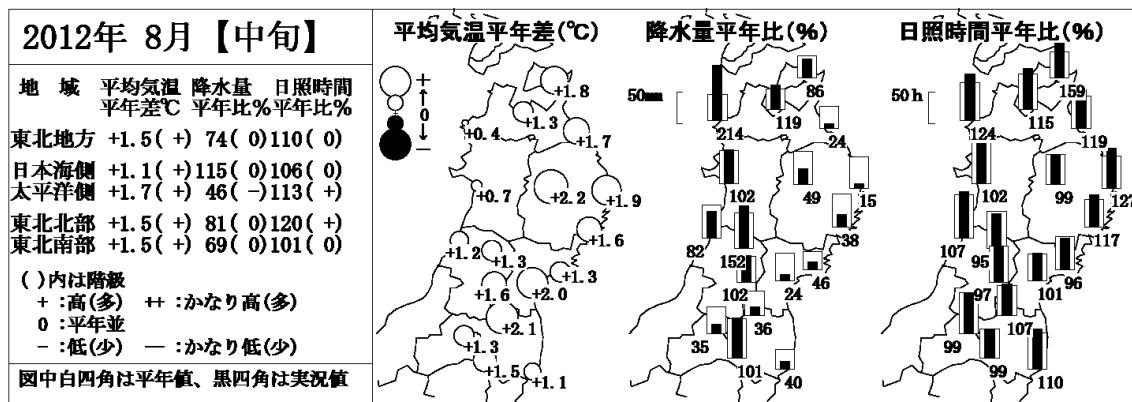
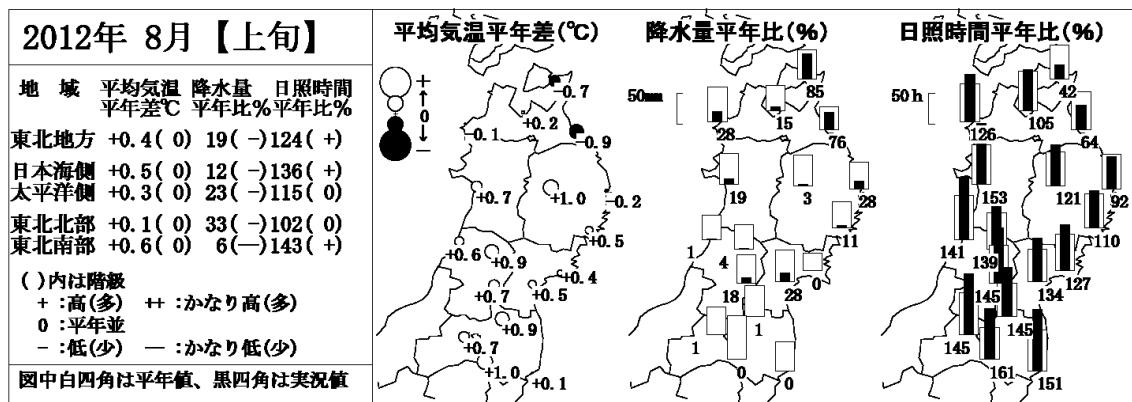
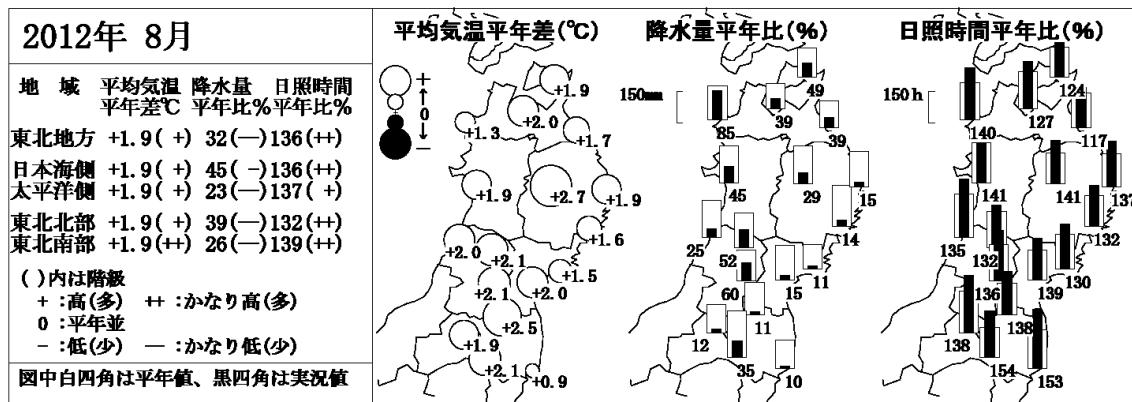
平均気温は高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

下旬：この期間、太平洋高気圧におおわれて晴れの日が続き、気温はかなり高かつた。23日から25日にかけてと30日は大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となつた。

平均気温はかなり高い。降水量はかなり少ない。日照時間はかなり多い。

(注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、特別地域気象観測所の観測値より求めています(速報値)。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。気温の高い・低い、降水量、日照時間、降雪の深さ合計の多い・少ないは、特にことわらない限り平年と比較した階級を表します。平年値の統計期間は1981～2010年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

(3) 2012年8月の月・旬平均気温の平年差、降水量・日照時間の平年比



平年値の統計期間は1981~2010年。

(注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2012年8月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			≥1mm	(h)	
青 森	25.3	(+2.0)	+	47.5	(39)	-*	5	228.2	(127)	+
深 浦	24.5	(+1.3)	+	140.5	(85)	○	4	250.9	(140)	+
む つ	23.6	(+1.9)	+	70.0	(49)	-	5	178.7	(124)	+
八 戸	24.2	(+1.7)	+	50.0	(39)	-	6	195.1	(117)	+
<hr/>										
秋 田	26.8	(+1.9)	+	79.0	(45)	-*	6	272.7	(141)	+
<hr/>										
盛 岡	26.1	(+2.7)	+	52.5	(29)	-*	5	210.1	(141)	+
大 船 渡	24.6	(+1.6)	+	28.0	(14)	-*	7	196.3	(132)	+
宮 古	24.1	(+1.9)	+	25.0	(15)	-*	4	219.9	(137)	+
<hr/>										
仙 台	26.2	(+2.0)	+	24.5	(15)	-*	5	200.2	(139)	+
石 卷	25.0	(+1.5)	+	13.0	(11)	-*	3	216.9	(130)	+
<hr/>										
山 形	27.0	(+2.1)	+	91.0	(60)	-	8	242.7	(136)	+
新 庄	26.2	(+2.1)	+	87.5	(52)	-	4	227.9	(132)	+
酒 田	27.3	(+2.0)	+	44.0	(25)	-*	3	280.5	(135)	+
<hr/>										
福 島	27.9	(+2.5)	+	17.0	(11)	-*	5	209.9	(138)	+
若 松	26.9	(+1.9)	+	16.5	(12)	-*	6	275.1	(138)	+
白 河	25.6	(+2.1)	+	78.5	(35)	-	8	223.4	(154)	+
小 名 浜	25.1	(+0.9)	+	13.0	(10)	-*	2	283.2	(153)	+

(注) 1. 平年値は1981~2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

±:高い(多い) ○:平年並 −:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。

また、値が 1981～2010 年の観測値の上位または下位 10% に相当する場合には階級の「+」に * を付加した。この場合には

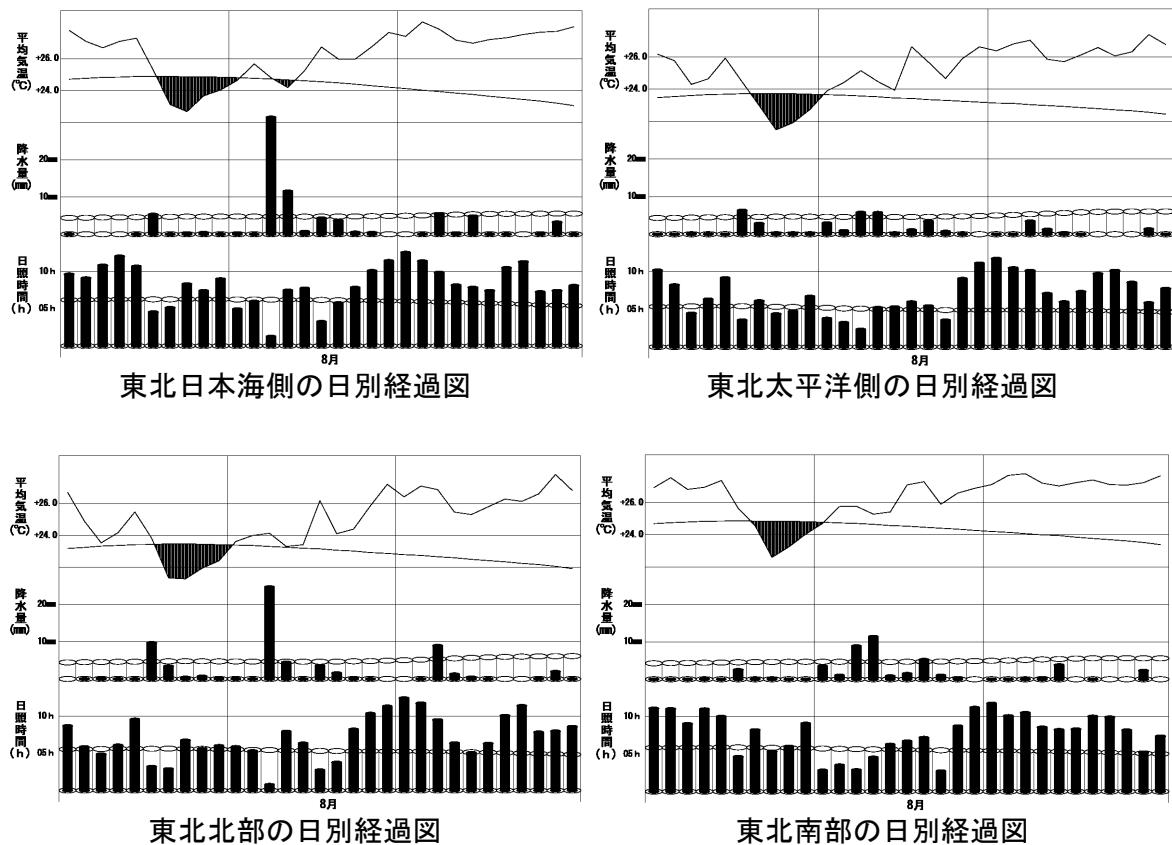
した。この場合には かなり高い（多い） かなり低い（少ない）

と表現できる

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができるが、] 付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2012年8月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）
気温の陰影は平年値より低いことを示す。

(6) 2012年8月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 °C	平年差 °C	これまでの最高 °C (西暦年)	開始年	平年値 °C
2	盛岡	26.1	+2.7	26.2 (2010)	1924	23.4
	福島	27.9 =	+2.5	28.6 (2010)	1889	25.4
	白河	25.6	+2.1	25.7 (2010)	1940	23.5
3	新庄	26.2	+2.1	26.7 (2010)	1958	24.1

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
2	若松	16.5	12	9.5 (1984)	1953	134.3
	福島	17.0	11	14.0 (1984)	1889	154.0
3	大船渡	28.0	14	22.0 (1997)	1963	196.5
	仙台	24.5	15	16.5 (1984)	1927	166.9

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	白河	223.4	154	215.5 (1985)	1940	145.3
	小名浜	283.2	153	281.9 (1994)	1910	185.7
2	若松	275.1	138	287.6 (1985)	1953	198.7

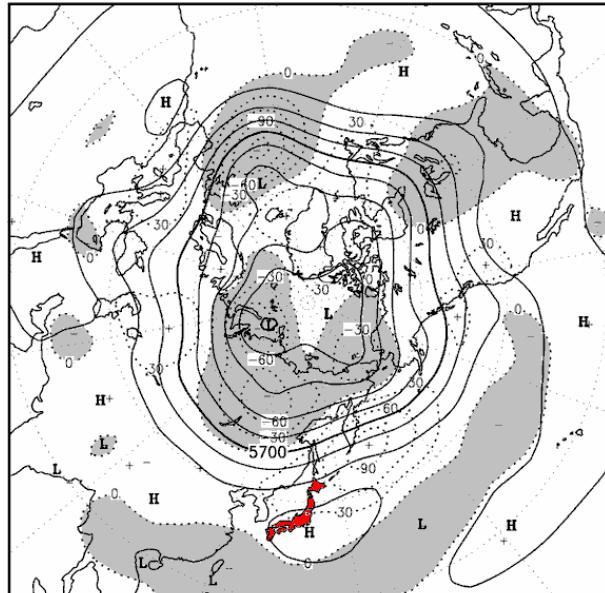
月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(7) 2012年8月の循環場の特徴

500hPa 高度は、中国東北区からアリューシャンの南にかけて帶状に正偏差で、本州付近は太平洋高気圧におおわれた。高緯度帶でジェット気流の蛇行がみられ、北日本に寒気が南下した時期があった。

東北地方は、上旬前半と月の後半は太平洋高気圧におおわれ、晴れて気温の高い日が続いた。中旬に気圧の谷や前線の影響を受け、東北日本海側を中心に大雨となったが、月降水量としては東北日本海側で少なく、東北太平洋側ではかなり少なかった。



2012年8月の平均500hPa高度

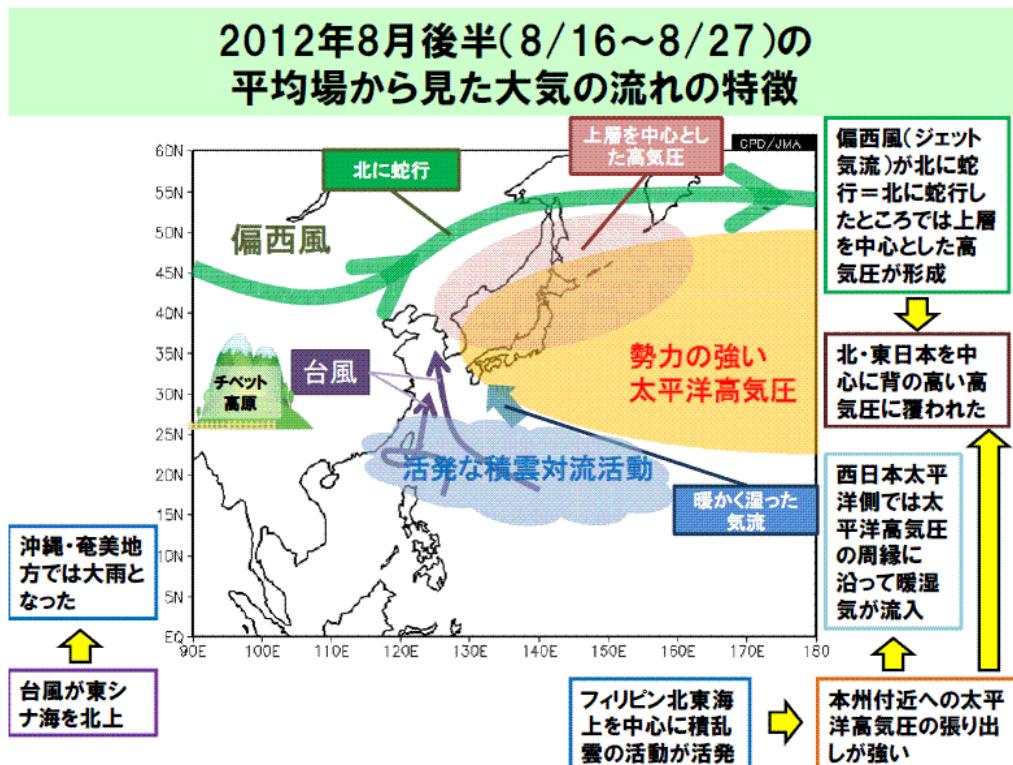
実線は高度(m)、間隔60m。点線は偏差(m)、間隔30m。
陰影部は負偏差(寒気に対応)。

(8) 2012年8月の少雨と高温をもたらした大気の流れの特徴

東北地方では、8月は太平洋高気圧におおわれて晴れる日が多くなり、東北太平洋側を中心には降水量の少ない状態が続いた。また、8月16日頃からは、太平洋高気圧におおわれ晴れて残暑の厳しい日が続いた。

8月6日は上空に寒気が入り大気の状態が不安定となって東北北部を中心に大雨となった。また、8月13日から14日には日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み東北日本海側を中心に大雨となったが、そのほかは局地的な大雨はあるものの少雨の状態を解消するようなまとまった雨はなかった。

図に8月後半、北日本から西日本にかけて太平洋高気圧におおわれ、残暑が厳しくなった時期の大気の流れを示す。太平洋西部の対流活動活発域はフィリピンの北に北上し、本州付近への太平洋高気圧の張り出しが強まった。また、亜熱帯ジェット気流（緑の線）が中国東北区から北に蛇行し北日本に向けてチベット高気圧が張り出した。



社会的に影響の大きい天候に関する東北地方気象情報の発表状況

平成24年8月20日15時00分 少雨に関する東北地方気象情報 第1号

平成24年8月24日15時00分 少雨と長期間の高温に関する東北地方気象情報 第2号